



**長 崎 県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp  
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく!」**  
**～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～**

## 第19回 障害者問題全国交流会 in 広島 参加報告

日時：10月19・20日(木・金) 会場：福山ニューキャッスルホテル

テーマ：誰もが安心して暮らせ、夢の持てる地域づくりを

### 第6分科会(見学分科会)

#### 私たち元気に働いています

～特別支援学校卒業生の職場訪問～

**見学先** (株)アシスター、日鐵鋼業(株)、(株)ププレひまわり

長崎出島支部 菅原 千代枝

支援学校の卒業生がどのように仕事をしているか見てみたいとの思いで見学分科会を選びました。

初めに着物の仕立てをされている(株)アシスターさんへ。支援学校で浴衣を縫っていた器用な女の子をまずは実習から受け入れました。雇用は考えてなかったにもかかわらず、その器用さから自然に就職と繋がりました。着物は各工程を流れ作業しています。その中で彼女は素早くミシンを動かし着物の一部分を完成させていきます。15人ほどの作業場で他の社員と何一つ変わらなく作業していました。彼女の夢は、もっと難しい作業がしてみたいということ。辛い事があったときは、大好きな嵐の曲を聞いて乗り切る。ごく普通の女の子です。アシスターの松井さんは、本当に優しい目で彼女を見守っていました。

次に見学に向ったのは危険と思われがちな鉄工所。こちらは仕方なくから始めた実習が、今では障がい者雇用が欠かせない大きな出来事になったという能登さ

んのお話が印象に残りました。社員が主体的に取り組む3S(人を生かす経営)を始める事による社員の成長。そのことによって障がい者雇用もスムーズに進んでいったように感じました。自社の環境を整え、社員の自主性を大事にすることが大切なのだと学びました。

最後にドラッグストアのププレひまわりさん。こちらは大きな会社ですが、障がい者雇用の踏み出し方が分からず、違約金を払われていたそうです。しかし広島同友会の働きにより、実習、雇用へ繋がっていきましました。実習で生徒さんのいいところが見つかり、障害は個性と感じたということでした。

3つの会社、それぞれ実習から始めた障がい者雇用



## 目次

|                                       |   |           |    |
|---------------------------------------|---|-----------|----|
| 第19回 障害者問題全国交流会 in 広島 参加報告            | 1 | 事務局企業訪問   | 8  |
| 10月例会報告                               | 3 | 入会・復会会員紹介 | 9  |
| 第3回 中同協 共同求人・社員教育委員会 合同委員会 in 東京 参加報告 | 5 | 12月例会案内   | 10 |
| 2017 組織強化・会員増強全国交流会 参加報告              | 5 | 理事会議事録 抜粋 | 11 |
| 会員活躍                                  | 7 | 会員動向・会員数  | 12 |



のと感じました。

障全交に参加される会員の皆さんは熱い思いの方が

がまたこのような見学会に繋がっていき、まだ雇用をされてない会社が、実習ならできるかな…と考えられるきっかけなる。広島同友会の取り組みは素晴らしいも

たくさんいらっしゃいます。私自身の刺激にも繋がっています。懇親交流会では、たくさんの方のお話を伺い、取り組みや思いを語り合いました。全国交流会だからこそ聞ける貴重なお話です。

長崎のダイバーシティ委員会では今回の学びを活かし、実習に繋がる取り組みなどをしていき、さらにステップアップした委員会づくりをしていきたいと思いました。

## 第1分科会

### 多様な人が輝ける職場を理想に掲げて

～障害者雇用で見えてきた、人が生きる経営の本質～

(株)ピアライフ 代表取締役  
滋賀同友会副代表理事

永井 茂一 氏

同友会事務局 田口 友廣

永井さんは債務超過の不動産業を引き継ぎ、売り上げ・利益の追求で社員が定着せず、ボロボロになった社風を「何とかしたい」と思い、同友会に入会しました。経営姿勢の確立と経営指針の実践に着手し「社員のかげがえのない人生に責任を持つ」覚悟を固めます。そして障がい者雇用の実態を知り「我が社で何かできないか」と作業所への業務委託から始め、今では障がい者や若年無業者の雇用と仕事づくりにも取り組んでいます。

今回は3人の社員の事例をお話いただき、そこから学ばせていただいこととは①障がい者雇用で多くの人の多様性・可能性を見る力が湧く ②人は一生懸命関わると変わる ③障がい者雇用を通して社内が変わるの3点です。

「36歳まで引きこもりだった若者」は、社会経験はまったくないものの永井さんはパソコンが得意だということ見抜き、「その能力を自分のためだけでなく、人のために使ってみないか」と話し、ピアライフに入社。能力を活かし、活躍。今では13年勤務し、ピアライフにおいてなくてはならない人材になりました。

「落ちこぼれの新卒採用者」は、入社後に何度も事故を起こし、外回りをすればさぼって帰ってこない。事務仕事をすれば寝てしまう。そんな状況でしたが、永井さんをはじめ、社員の方が一生懸命に彼に関わることで少しずつ成長していきます。諦めずに関わり続けることで、今では勤続7年。8月には営業部門でのトップとなったそうです。永井さんは「人は変わるものだ」と信じている。人は自ら変わる。だからただ寄り添うだけ」と語り、「人を育てることが経営者の仕事であり、昔は利益が上がったことが嬉しかったが、今は人が成長したのが嬉しい」という言葉が印象に残りました。

「聴覚障害を持つ新卒採用者」には、耳が聞こえないことへの配慮はするが差別をしないとして、耳が聞こえないものの口語ができることから、なんと今では営業として活躍されています。また、「言ったじゃないか」と自分のことは棚に上げ、部下を非難ばかりするという問題があった社員が、彼女には「言ったじゃないか」が通用しないためどうしたら伝わるかと考えることで、伝え方が変わり、問題があった社員だけでなく社内全体の意思疎通が高まり、良い影響が出たという一例もお話いただきました。

障がい者だけでなく多様な人材と接することから気付いた、人が生きる経営の本質をお話いただき、今回の障全交の開催意義・目的でもある「障害者問題に取り組むことは同友会理念の具現化そのもの」ということについて深く学ばせていただきました。

今回は、貴重な機会をいただきありがとうございます。今後、事務局として障がい者雇用だけではなく、多様な人材が活躍する長崎同友会の実現に向け、取り組んで参りたいと思います。





## 大村支部 例会報告

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 日 時   | 10月19日(木) 18:30～21:15                                       |
| 会 場   | 長崎インターナショナルホテル                                              |
| テ ー マ | とことん学ぼう同友会！<br>～同友会の学びが金メダルになった！～                           |
| 報 告 者 | 九一庵食品協業組合 代表理事 理事長<br>徳田 信義 会員<br>(有)金井建設 代表取締役<br>金井 政春 会員 |



今回は、支部相談役の徳田さん・金井さんのお二人の報告を例会委員会アドバイザーの下坂さんがナビゲートして進める新たな取り組みでした。同友会の歴史や支部の設立から現在に至るまでのご苦勞、また労使見解や経営指針、同友会での学びや参加者の疑問や質問などに両相談役からお話いただきました。

まず、支部の設立では親睦主体から経営を学ぶ合う勉強会のスタイルに変遷し、その中でも労働者と使用者の関係を改善したいという思いで「労使見解」を学んできたことから、「経営者の責任」や「対等な労使関係」などの8項目をひとつひとつ分かりやすく丁寧に説明されました。社員との信頼関係を醸成するには、清く正しく粘り強く接することが何より重要というメッセージが印象に残り、続けて報告された経営指針作りや経営計画書と「金メダル受賞」の実践に繋がっていることを理解できました。

徳田さんの会社設立にあたっては、同じ考えをもつ同業者を探して出会い、将来を語り意気投合して設立に至った行動力の素晴らしさ、多額の借入による設備投資での大手取引先の要望に応える生産体制作り、資金繰りなどの苦難を乗り越えてきた経営者としての覚悟など、同友会での学びが役に立ち苦勞しても前向きに取り組めたとのことでした。

実践していることのひとつとして、社員の満足度を上げて、社員が退職するときに「この会社に勤めて良かった」、「自分の子供を勤めさせたい」と思うような会社になりたいとのこと、まさに「労使見解」そのものです。以前は社員がダメだと思っていたが、今は社員



を教育できない自分がダメという思いから経営指針や経営計画書を作成して社員と共有し、驚いたことには10年先を見越して毎年見直し、四半期別毎に進捗を確認し合って、方向づけしていることでした。また、社員一人ひとりの目標を発表し合っている状況も説明いただき、そんな取り組みの成果が今回の「濃くコク豆腐の金メダル受賞」だと思いました。そして、着実に社員共育を実践し成果に結びつけている姿は、これこそ、よい経営者であるための基本と感じました。経営計画書は問題解決の手引きであり、行動の判断基準となり、船で言えば「羅針盤」という、どんな会社にとっても必要不可欠なものという報告は何よりも具体的なものでした。

同友会に入会して、いろんな方と交流・グループ討議し、自分自身を知り、経営者としての自覚やアイデアも生まれ、出会っていなければ現在の自分は居ないとまで言い切れるほどの刺激があったとのことでした。

2019年には長崎で全研が開催されます。広く交流して、そして素直に受け入れて学びを深める良い機会であるなど、多くの同友会の良さを報告され、そして実践からの学びを教えてくださいました。

今回のグループディスカッションテーマは「これまでの同友会での学びの中で、一番刺激になったことは何ですか？」で、先輩会員の大失敗から立ち上がった行動力、経営指針は会社が小さくても一人でも必要であること、経営指針の必要性と作成のプロセス、経営指針は企業発展には不可欠なもの、学びを実践する力、経営者の覚悟、などの意見がありました。

今回の報告とグループディスカッションを通して、



経営指針、経営計画書の重要性、同友会の良さを更に  
知ることができた会員も多かったと思います。また、  
労使見解の理解を深め、経営者の覚悟と行動への気付  
きを得ることができた例会でもありました。報告あり

がとうございました。

(文責 得田 稔)

北松浦支部 例会報告

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 日 時   | 10月18日(水) 18:30～20:30         |
| 会 場   | サンパーク吉井                       |
| テ ー マ | 2025年問題を見据えて<br>～陽から陰の時代への転換～ |
| 報 告 者 | 桃李(株) 代表取締役<br>大橋 尚生 会員       |



横浜で働いていて長崎へUターン後、3年前に税  
理士事務所職員から脱サラし、独立開業。人間学を基  
礎にした会社経営を提案していたが、奥様が看取り士  
になったことをきっかけに自分自身も看取り士とな  
り、訪問看護ステーションを開設。

陽の時代⇒社長のリーダーシップで会社は成長できた  
時代。支配の時代。

陰の時代⇒社長と社員が協働して会社を成長させる  
時代。協働の時代。

もともと文化としてあったのかもしれないが「看取  
り」という文化を新しい形で創造したい。

今、急速に高齢化が進んでいて、最期を迎える側も  
それを看取る側も高齢化しており、人に看取られなが  
ら最期をむかえることができない社会になっている。



そうした高齢化社会におい  
て、人生の最期を穏やかに  
むかえたいというニーズに  
こたえるべく看取り士とい  
う職業が存在する意義があ  
る。

また、看取り士は、最期のときご家族に寄り添って  
いただくことをお伝えしている。訪問看護ステーショ  
ンを運営していくうえで「看取り」に特化して事業展  
開を試みている。

<感想>

なかなか事業化することが難しい「看取り」を事業  
としてやっていくことはすごいなと思いました。今後、  
高齢化が急速に進む中、「看取り」に関する需要  
が増える可能性は感じた。

今後は、「看取り」という言葉が一般の人に身近に  
なり、さらには「看取り」というサービスが認知され  
ることが重要だなあと感じました。

(文責 吉田 大)

V・ファーレン長崎



 応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

|     |     |               |
|-----|-----|---------------|
| 複数月 | 6ヶ月 | 12,000→10,000 |
|     | 4ヶ月 | 8,000→ 7,000  |
| 割引  | 3ヶ月 | 6,000→ 5,000  |



## 第3回 中同協 共同求人・社員教育委員会 合同委員会 in 東京 参加報告

開催日：9月7・8日(木・金) 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町

テーマ：「真の人を生かす経営の実践とは」

報告者：中同協・共同求人委員長 小暮 恭一氏、中同協・社員教育委員長 梶谷 俊介氏

### 共同求人準備委員長 橋口 久

長崎同友会は、今年度共同求人準備委員会が発足しました。私が準備委員会委員長を拝命しておりますが、来年度の委員会設立を目指して日々勉強中です。

準備委員会活動の中で、今回東京神保町で開催された、第3回共同求人・社員教育合同委員会（以下、合同委員会）／第1回中同協共同求人委員会（以下、共同求人委員会）に参加しました。私なりの共同求人イメージがあったのですが、2日間の学びを通してそれが甘い考えだったことに気づかされ、同時に、「さすが、同友会！」と同友会の真髓を再認識させてもらった機会となりました。

合同委員会では、「就業規則」「経営指針」「労使見解」、この3つのキーワードが多用されていましたが、中でも強く届けられたメッセージが「就業規則」の整備でした。就業規則が整備されていない、つまり、社内規則や労働条件の正しい定めがないことは、経営者の勝手に労働者を働かせていることでもあり、雇用保険法や職安法等の法改正も相まって、就業規則は毎年でも見直す（改定する）必要があることを知りました。弊

社も、経営計画書を毎年作成していますが、同時期に就業規則も見直して社員と共有しようと決めました。

共同求人委員会では、全国の共同求人委員会委員長が一堂に会し、意見交換を行いました。この中でも、研究課題としての講演で、就業規則の見直し・労働条件や賃金規則の正しい明示・雇用契約など、これまで経営者が「直ちに影響はない」としてきちんと整備していなかったグレーゾーンの部分の指摘がありました。これらはきちんと、かつ早急に整備する必要がありますが、それは法改正ありきの体制整備ではなく、「人を生かす経営」を追求し、同友会三つの目的を目指す観点において経営者が自らに課すべきものとして位置づけられていました。

来年度設立予定の共同求人委員会は、単に私たちの求人活動の一翼になるだけではなく、同友会会員が、現代・未来の労使見解を知り、そして実践できる委員会になるでしょう。そして、三位一体の経営と言われる通り、共同求人委員会は、経営労働委員会・共育委員会（また、他委員会）と共に、縦割りではなく、横断的な取り組みで県全体の同友会活動を盛り上げていきたいと思っています。

## 2017 組織強化・会員増強全国交流会 参加報告

開催日：10月5・6日(木・金) 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町

### 代表理事 松尾 慶一

新体制になって2回目の幹事会でありましたが、昨年迄と大きく変わったスケジュールでした。何が違ったかと言うと5万名達成に向けての組織強化・会員増強全国交流会と銘打って初日15時半～3時間と、翌日の9時から3時間をフルに使って190名のグループ討議でした。この10年の中、同一テーマで最長のグループ討議でした。

当然、最初の2時間は通常の幹事会が行われ、2日目の午後からは九州・沖縄ブロックの代表者会議でした。

さて、報告者の一人福島同友会の藤原賢一エリア長から2年間の活動実績を報告されました要旨として800名の会員の御世話役を務め、更にこれからは代表理事や役員の資質が問われる時代ではないか？代表



理事が倒産したり新聞沙汰になったりするとダメージが大きい。

22グループ中、第11グループは北海道あさひかわ副支部長・岩手盛岡支部長・山形副代表理事・新潟佐渡島副支部長・兵庫事務局次長・福岡代表理事・沖

縄事務局長・そして私の8名でした。初日の意見は、山形は増強に抵抗がある。今年から代表理事の一人が拡大委員長を担って、安売りしない会にしようと決議したそうです。

佐渡島は設立5年、離島なので外へ出る人が少ない中に30名会員を擁していて、五島支部との親近感を覚えました。旭川支部は730社いて楽しい会にしたいと言われ、参加率を全てデータ化したそうです。しかし4支部・7地区が広域に展開されていて顔を合わせる機会が少ないのが悩みだそうです。福岡の田浦代表理事は会歴29年で代表理事兼増強本部長を務め2098名の会員の為に、各地でどのような増強活動をしているかを知りたい。せめて20%の会員さんに参加して欲しいが、福岡県の実態は8%しか動いていない。それに比べて、愛知では11.2%もの参加率だそうです。

兵庫の次長は1995年震災の年に入会し、今は増強戦略会議を担当しています。盛岡支部長は2年目ですが、200名が30名減りました。理由は明確で勧誘する時に、同友会に合う人を探している傾向が強く人間関係増強の付けが回った。よって、どうするか模索しているそうです。

様々に討議した結果、支部長の育成、増強委員長の育成が大切である。それが5万人達成の原動力となる。何で我々は同友会をやっているのか？今日有るのは同

友会のお陰である。更に学ぶ。増強の中に我々が主体者となる。どうやって入れるかのテクニックではない。更に、語り部にならなければならない。勧めている自分達が魅力ある会社になっているのか？事務局と連携しながら良い会社をつくる。その結果を作った語り部を会内に作りうる事が仲間を作り出すといったことが話し合われました。

#### <10月6日 2日目>

冒頭、沖縄は会費を値上げしたそうです。5,000円を6,000円にすると50名退会者を出しましたが、必要だったそうです。

地域を担っていく同友会として、どうするのだ。女性会員の比率を増やしていくのは大切だし、やっぱり、1,000名はいないと地域に於いて存在感が無いとの意見。沖縄は1,000名を超えてから外からの待遇が変わったとの事。なんと言っても、トップ（支部長）が燃えないと変革出来ない。福岡の様に仕組み作りが大切だと思うので、まずこの会議に参加する人を増やそうと思います。そして、沖縄が実践している星取表と言うのが有るそうなので、事務局を通じてTTPします。

結びに労使見解、究極のパートナーシップは社員に事業承継する事。大変有意義な2日間、長崎も1人でも多く幹事会に参加しましょう。

#### 同友会事務局次長 峰 圭太

10月5日午後から中同協第2回幹事会に参加させていただきました。幹事会では審議事項や協議事項、報告がなされ、全国の運動の到達点を確認しました。

幹事会終了後、引き続き組織強化の交流会となり、冒頭広浜会長から本交流会の意義を①増強の大運動とすること ②中小企業が占める割合から、数の力＝使命感として取り組むこと ③一人ひとりがどのように運動を進めて行くのか確認をすること、という3点にまとめられました。

事例報告は2日間を通して各地同友会から6名いただき、グループディスカッションでは全国5万名達成のためにどのように運動を展開するか議論しました。今回の交流会であらためて学ばせていただいた大きな点は「何のために」です。会員は何のために同友会に入会し、経営を学ぶのか。それはやはり自社を良くするため、自身が良い経営者になるため、そして社員の幸せを追求するため。多くの会員がいることでその学びは深まり、広まっていくという事です。また「飲水思源」という言葉のように、先輩会員や事務局が築き上げた土壌に今いることに感謝し、次の世代へ何がで

きるかを問い、行動していくこと大事だと学ばせていただきました。そのベースになるものはやはり労使見解です。ディスカッションを展開するうえで、また報告の中にも行きつくところは必ずと言ってもいいほど労使見解です。労使見解を会内で再度学び、企業に地域に、事務局に落とし込み、実践することが会員企業と同友会運動の発展につながることを確認させていただきました。

また会員企業が今よりもさらに良くなるために同友会運動を広げていくには、事務局が主体者となって運動を牽引していくことが大事ということも提起され、あらためて私に、私たち事務局に何ができるのか、何をしなければならないのかを深く考えさせられる契機となりました。まずは事務局員の労働環境の見直しが急務という全国の共通認識のもと、役員の皆さんと誇りを持って仕事ができる事務局づくりを行っていきたいと思います。同時に、高い次元での提案力を身に付け、情勢を学び、地域や他団体との連携など事務局全体の資質を上げていきたいと思います。

有言実行。実践することで更なる到達点を目指していきたいと思います。



## 会員活躍

長崎新聞 10月21日 長崎出島支部 土井 幸喜 会員

事務効率化ソフト  
長崎の2社が販売  
経営コンサルタント業の「松本」（長崎市）とシステム開発を手掛ける「ドゥアイネット」（同市）は、今月から、県内で、パソコン上の事務作業を効率化するソフトを販売している。来年3月までに北部九州で3件の導入を目指すという。2社が販売するのはソフトウェア開発会社RPAテクノロジーズ（東京）の製品。パソコンの定型作業を自動化する技術「ロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）」と呼ばれるシステムを使い、人がパソコン上で行う事務作業をコンピューターに覚えさせ、自動処理に置き換えるという。ドゥアイネットが代理店となり、顧客の業務を分析し、ソフト導入までの作業を担う。松本は県内での顧客開拓を担当する。  
（大田裕）

長崎新聞 10月31日 長崎出島支部 李 泳勲 会員

「長崎に起業家を増やし、県全体を活性化したい」。そんな思いで、事業者がオフィス環境を共有するコワーキングスペースを9月19日、長崎市内にオープン。情報交換したり、交流したりもできる。起業支援や事業相談、セミナー開催などを通して、「ビジネスチャンスを広げ、起業家の拠点となる施設を提供したい」と意気込む。韓国・ソウル出身。長崎市で行政書士として働

コワーキングスペース「minato」を運営する 李 泳勲さん



### 起業家を応援したい



く中で、事業者同士の人脉づくりの大切さに気付いた。また、長崎で個人と笑顔を見せる。趣味は事業者向けのオフィス環境を充実させたいと感住。29歳。  
（大田裕）

じ、ずっとほしかった施設を自らプロデュース。起業しやすい環境構築で、いずれ上場企業を輩出したい考えだが、まずは県内の新規企業の増加を狙う。「若者に地元でビジネスを始めてほしい、長崎を盛り上げてほしい」と語る。「会社員や学生にもカフェ感覚で仕事や勉強などに利用してほしい」と笑顔を見せる。趣味は事業者向けのオフィス環境を充実させたいと感住。29歳。  
（大田裕）

長崎新聞 10月27日 佐世保支部 岩寄 大貴 会員

時計や鏡、フォトフレーム。「シンブル」だけど実は製造のノウハウが凝縮。東彼波佐見町の貼り箱メーカー、岩寄紙器（岩寄大貴社長）が手掛ける紙製のインテリア雑貨「写真」が、今年の長崎デザインアワードの大賞に選ばれた。  
○72企業が137点を応募。雑貨や食品、陶磁器



などさまざまな商品から、審査員の「全員一致」で頂点に立った。  
○同社は、これまでも紙製のバッグを販売するなど、業界の「下請けイメージ」を覆してきた。「球形のもの以外はだいたいでできる。ありそうでなかったものを紙で作ってみたい」と岩寄社長。次はどんな紙の可能性を見せてくれるか。  
（熊本陽平）

## 長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!

2019年2月(予定)開催まで

あと

15

ヶ月!!

# 事務局企業訪問

今回は11月に五島市で五島うどんの製麺所を新たに開設された五島支部 中本 茂さん((株)中本製麺)にお話を伺いました。



## <(株)中本製麺>

(株)中本製麺は1986年に中本さんが製麺業として上五島にて創業。現在は五島うどんの製造・卸・小売・ネットショップ運営を行っています。

五島うどんは香川の讃岐うどん、秋田の稲庭うどんと共に「日本三大うどん」と言われています。その歴史には諸説ありますが、遣唐使の時代に五島列島に伝わったと言われています。普通のうどんに比べ、麺が細くコシが強いという特徴がありますが、中本さんのところでは、①昔ながらのコシが強い麺 ②もちもちした麺 ③早く茹で上がる麺と大きく分けると3種類の麺の取り扱いがあります。どれも食感や味わいが異なるので、ぜひ食べ比べて欲しいということでした。また五島うどんは伸びにくいという特徴もあるため、夏はざるで、冬は鍋にも使えると年中楽しめることも魅力です。

中本さんは五島生まれの五島育ち、中学校卒業後は、海員学校へ進学し卒業後は15年間に船舶の乗組員として過ごしました。

お子さんが誕生したことを契機に、地元へ帰って何かやろうと思い立ちました。大阪に住んでいたお兄さんに相談したところ、五島うどんは当時全国的に知られていないのでやってみてはどうかという勧めから製麺所の創業を決意。知り合いの製麺所で修行をしながら、半年の準備期間を経て製麺所を立ち上げました。

## <五島うどんのPRそして新工場の設立>

中本さんは現在、五島うどんの製造だけでなくPRにも力を入れており、様々な依頼に応じて出店をする機会も多くあります。(余談ですが波佐見の陶磁器組



合からの依頼で五島うどんの出店をされた際には、松尾代表理事とお互いに同友会会員とは知らずに出会ったこともあったそうです。

そしてこれからさらに五島うどんを全国に発信するための取組みとして、下五島(五島市)に新工場を設立。11月より稼働予定です。ほとんどの五島うどんの製造は上五島で行われていますが、他県の人から見ると五島には上や下といった認識がないことから、五島市に来島される方に向けて工場見学ができ、そしてその場で麺を買って自分たちで調理ができる調理場&食堂を設けました。キャンプに行くような感覚で五島うどんに接し、思い出を作ってもらい全国に五島うどんの良さを発信していきたいと語られました。

## <これからの課題>

上五島の工場では家族経営といったこともあり、良くいえばアットホームで、悪く言えば緊張感がなく規律があつてないような状況が課題でした。

麺づくりでは大きな機械を使用するため、事故が起こると一大事となります。そこで初心者が多い新工場においては、事故を防ぐためにも立ち上げからルールを作り、規律を重んじることを徹底した組織づくりにチャレンジし、そのためにもこれから同友会でさらに学びを深めたいと語られました。

取材に伺ったのは9月中旬で、新工場が完成間近といった工事中の現場でお話を聞かせていただきました。次にお伺いする際には、工場の見学と体験をさせていただけることを楽しみにしています。

これからの中本さんの活躍を祈念いたします。

## <会社概要>

(株)中本製麺

住所：〒857-4602

長崎県南松浦郡新上五島町曾根郷1202-1

TEL：0959-55-2409

FAX：0959-55-2530

五島市工場

住所：〒853-0031 五島市吉久木町831-1

TEL：0959-72-4846

FAX：0959-72-4847

(文責 事務局 田口 友廣)





# 12月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

## ●長崎浦上支部・長崎出島支部

日 時 12月4日(月) 18:00～21:30  
会 場 ホテルニュー長崎 桃林  
内 容 長崎浦上・出島支部合同忘年例会

## ●大村支部

日 時 12月21日(木) 18:30～21:15  
会 場 長崎インターナショナルホテル  
テーマ (仮)自分にとっての同友会とは  
報告者 (株)新生電気 専務取締役  
浦郷 学 会員

## ●諫早支部

日 時 12月20日(水) 18:30～21:00  
会 場 諫早観光ホテル 道具屋  
内 容 忘年例会 ～今年を振り返って～

各委員会ごとに一年を振り返りかえる。

## ●島原支部

日 時 12月19日(火) 19:00～21:30  
会 場 HOTEL シーサイド島原  
内 容 島原支部 大忘年会

早いもので来月は2017年最期の例会となりました。そこで昨年に引き続き、忘年会を開催します！会員が企画した各種イベントと、美味しい料理、そして会員同士の語り合いによる学びで2017年を締めくくり、来る2018年に向けての活力を養いましょう！

## ●佐世保支部

日 時 12月19日(火) 18:30～21:00  
会 場 セントラルホテル佐世保  
テーマ 未定  
報告者 長崎県難病連絡協議会 県北支部 支部長  
上田 崇仁 氏

長崎県北地域には難病の相談を気軽に出来る場所が無く、患者の皆様は悩まれておりました。県南には有るのに県北に無いことは、地域格差の何物でもないと考え、県に相談したが相手にしてもらえなかったことから、自分で設立することを決め、平成29年4月開所し現在に至っております。設立について苦労したこと、難病の方の現状を知ってもらおうことをお話いたします。

## ●北松浦支部

日 時 12月13日(水) 18:30～20:30  
会 場 サンパーク吉井  
内 容 忘年例会

報告はありませんが、会員同士が一年を振り返り、考えた事、悩んだ事などを相互に持ち寄り、話し合い、語り合う事によって来年への糧とします。

## ●五島支部

日 時 12月16日(土) 19:00～21:00  
会 場 観光ビル はたなか  
内 容 忘年例会

- ・今年の反省及び来年の目標(出席者全員) 発表(1分間)
- ・くじ引きによる景品の抽選会

## ●青年経営者会

日 時 12月19日(火) 19:00～21:00  
会 場 かリーによ  
内 容 臨時総会



## 投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。  
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/ jimu@nagasaki.doyu.jp



## 折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。



# 11月理事会 議事録 抜粋

11月1日(水) 19:00～21:30  
諫早市社会福祉会館 出席21名 欠席5名

## 開会挨拶－松尾代表理事

とうとう11月を迎えました。本日の理事会資料には来期に向けたものが多くあり、とうとう私も10年間お世話になって終わりかと寂しくも感じておりますが、全研もあります、まだまだ仕事がたくさんあります。最後までみなさんと頑張らせていただきますのでよろしくお願い致します。

## 仲間づくりについて

- 1)入会・交代・変更・退会の承認について  
－2名の入会、1名の交代、2名の変更、3名の退会を承認

## 西山仲間づくり委員長総括－

- ・11月14日を県下一斉キャンペーンと位置付ける提案  
10月24日に仲間づくり委員会を開催、原田支部長より仲間づくりの考え方や方向性をお話いただきました。目標を掲げた以上、達成するためには支部長の覚悟が必要だと思いました。また11月14日のキャンペーンに向けて現在の状況を支部委員長よりLINEで報告していただいています。11月14日のキャンペーンを成功させましょう。

## (松尾代表理事より)

今期の目標を755名としてご協力いただきありがとうございます。無理は承知の上で、12月までに前倒しで目標を達成をお願いしました。もしできないのであれば言ってください。一緒にできる方法を考えましょう。目標をやり通しましょう。

## (提案事項として)

- ・11月14日のキャンペーンを「長崎同友会の日」とする
  - ・キャンペーン期間は11月2日～14日として、事務局に提出された入会申込書を支部別にカウントし、入会申込書が最多の支部に支部賞を贈呈する
- 提案事項を承認。11月14日だけ動くのではなく、14日までに入会申込書をいただける形で動くことを確認

## 協議・承認事項

- 1)2018年度に向けて
- ・役員について  
(提案・質問として)  
三役会提案の2018年度役員案を承認、総会へ上程。  
委員長に関しては年内に決定ができるように進める
  - ・予算について  
(三役会案)  
来期期首750名での予算を提案。各支部の事務費補助について、公平性、主体的な活動への観点から変更の提案。事務局人件費に関しては正局員4名体制の予算とするため増加。また会勢大幅増に伴い、各種経費を上方修正。11月理事会においては各支部、委員会より必要経費を検討いただき12月理事会時に提案いただく
- 三役会案を確認。

- 2)第49回中小企業問題全国研究集会について  
(前回までの決定事項および検討事項)  
開催日を2019年2月21・22日(木・金)、メイン会場をホテルニュー長崎、分科会は「分散型」。

## (準備委員会案)

実行委員長を松尾慶一会員、副実行委員長は3名の副代表理事とし、県北、県央、県南で部会を担当いただく組織にする。各エリアがどの部会を担当いただくかについては別紙資料案参照、内容を詰めていく。また早急に実行委員会を立ち上げ、どの委員までを実行委員会メンバーとするのか等検討し、キックオフとしての委員会を開催する

→実行委員長を松尾慶一会員、副実行委員長は3名の来期の副代表理事とし、県北、県央、県南で部会を担当いただく組織にすることを承認。組織図の案については各支部役員会で協議の上、12月理事会の際に意見をいただく

- 3)2018年賀詞交歓会について

## (前回までの確認事項)

2018年1月23日(火)、ホテルニュー長崎を予約済み。  
→2018年賀詞交歓会企画案・式次第案を承認。

- 4)第24回経営フォーラムについて

## (最終出欠状況)

登録 第1分科会56、第2分科会69、  
第3分科会78

|         | 浦上  | 出島 | 大村 | 諫早 | 島原 | 佐世保 | 北松浦 | 五島 | 他県 | 合計  |
|---------|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|
| 目 標     | 83  | 60 | 35 | 32 | 30 | 40  | 12  | 8  |    | 300 |
| 登 録 会 員 | 62  | 48 | 33 | 27 | 29 | 30  | 10  | 4  | 5  | 248 |
| 登録ゲスト   | 38  | 9  | 2  |    |    | 5   | 2   |    |    | 56  |
| 合 計     | 100 | 57 | 35 | 27 | 29 | 35  | 12  | 4  | 5  | 304 |
| 参 加 会 員 | 52  | 43 | 23 | 21 | 27 | 28  | 8   | 4  | 5  | 211 |
| 参加ゲスト   | 35  | 8  | 1  | 0  | 0  | 4   | 2   | 0  | 0  | 50  |
| 合 計     | 87  | 51 | 24 | 21 | 27 | 32  | 10  | 4  | 5  | 261 |

※来賓20名、湯澤さん含めて合計282名の参加(懇親会は東京14名を含め、262名)

→アンケートおよびその他の振り返りについてが11月10日(金)の実行委員会を受けて再度協議する

- 5)ビジョン委員会からの提案について

→アンケートの実施を承認。他の委員会のフィードバックも見える形にする。その他、意見があれば11月5日(日)までに理事会メーリングに送る。アンケートの回答締切は11月17日(金)とする

- 6)事務局紙折り機について

## (三役会案)

紙折り機の故障により購入する。本来であれば備品費の枠にはなるが今期予算計上していなかったため予備費から捻出する

→三役会案を承認

- 7)企業変革支援プログラムの活用について

## (前回理事会決議事項)

10月中に理事、11月中に支部役員、12月中に一般会員が登録することを依頼

→登録情報を確認

(松尾代表理事より)現在の理事の登録は4名。11月5

日までに必ず e.doyu に登録をしてください。自社の状況を確認することができます。そして、支部の役員のみなさんに登録をお願いします

報告・連絡事項

- 1) 10月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について
- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)－山口例会委員長  
・10月例会の出席状況と11月例会について各支部にヒアリング
- 3) 中同協 主要行事の紹介  
理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)(敬称略)

|                |                                                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月19・20日(木・金) | 第19回 障害者問題全国交流会／広島／10名<br>・出島－伊藤②、菅原⑥、中村②、渡邊(伊藤さん社員)②<br>・島原－永吉杏⑥、佐世保－橋口⑥、原田③、渡邊④<br>・北松浦－宮田③、事務局－田口① |
| 12月7・8日(木・金)   | 共同求人・社員教育活動全国交流会／島根                                                                                   |
| 2月8・9日(木・金)    | 第48回 中小企業問題全国研究集会／兵庫／キャラバン開始                                                                          |

- 4) 10月5・6日(木・金) 中同協 組織強化・会員増強 全国交流会参加報告  
(松尾代表理事)年々幹事会が短くなり、それ以外の会議が増えています。今回は組織強化・会員増強についてですが、目標を決めてやるしかありません。会員増強の手引きを役員の方読んでください。会員増強の手引きは、e.doyu ファイルライブラリ内の仲間づくり委員会のフォルダにアップしています。活用してください  
(峰事務局次長)「飲水思源」という言葉を学びました。水を飲むときは、井戸を掘った人のことを思えということで、今あるものに対して、先人の恩を忘れてはいけないということです。
- 5) 10月5・6日(木・金) 中同協 第2回幹事会および九州・沖縄ブロック代表者会議参加報告(松尾代表・山口青経顧問・峰事務局次長)  
(松尾代表理事)活動状況の確認がされました。  
(山口青経顧問)初めての参加でした。今後、青年部連絡会の活動状況等を報告させていただきます。

- 6) 10月19・20日(木・金)中同協 第19回障害者問題全国交流会参加報告  
(中村支部長・原田支部長・菅原委員長・橋口準備委員長・田口事務局員)  
(中村支部長)障全交は2年に1回の開催。今回は長崎より10名の参加ですが、すでに障がい者の雇用をしているか、障がい者に携わる施設の方がほとんどです。一般の会員の方に多く参加いただいて人を生かす経営の根底に障がい者雇用があるということをご理解いただき、2年後に多くの参加をお願いしたいと思います。また、これを理解していただくことがダイバーシティ委員会の役割だと思います。  
(原田支部長)楽しく交流をさせていただきました。良い会でした。  
(菅原委員長)見学分科会に参加しました。3社訪問しました。3社共通していたのは、特別支援学校の実習後に受け入れたということでした。実習の大切さを学び、特別支援学校との連携やバスツアーなどこれからダイバーシティ委員会でも取組めればと考えています。  
(田口事務局員)グループディスカッションで会社を良くするための手段として障がい者雇用を始め、結果会社が良くなったという話を聞きました。今回の障全交の開催意義・目的でもある「障害者問題に取り組むことは同友会理念の具現化そのもの」ということを2日間を通して学ばせていただきました
- 7) 3ヵ月会費滞納者について－長崎出島支部1名、佐世保支部1名、五島支部1名  
(※理事会では氏名公表)
- 8) その他  
・(馬場支部長)希望ヶ丘特別支援学校の見学に行きました。生徒はしっかりとあいさつをし、最後の太鼓の演奏はしっかりと揃い、大変感動しました。  
・(宮田委員長)会員数目標755名達成のために、「チャレンジ755」など名刺に貼ることができるシールを作るなどして意識付けしてはどうか？何か動かないと年度末までに755名は難しいのではないかな。  
→上記提案について、仲間づくり委員会で協議する
- ※次回日程－12月理事会 12月6日(水)17:00～

会員動向

●企業住所等変更

**野田 修司 会員** (長崎出島支部)  
新住所：〒852-8003 長崎市旭町5-1 タワーシティイーストコート603

**丸田 保博 会員** (長崎出島支部)  
新FAX番号：095-895-7840

**吉田 大祐 会員** (長崎出島支部)  
新会社名：南長崎商事 新役職：代表者  
新住所：〒850-0982 長崎市柳田町196-2 1F  
新TEL番号：080-5215-2102

**宮田 京子 会員** (北松浦支部)  
新FAX番号：0955-25-8083

会 員 数 (11月1日現在)

|    | 浦上  | 出島  | 大村  | 諫早 | 島原 | 佐世保 | 北松浦 | 五島 | 合計  |
|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|----|-----|
| 目標 | 135 | 115 | 100 | 90 | 75 | 145 | 55  | 35 | 750 |
| 期首 | 110 | 87  | 79  | 72 | 61 | 124 | 44  | 25 | 602 |
| 現在 | 110 | 90  | 81  | 74 | 62 | 135 | 44  | 31 | 627 |

退 会 者 (敬称略)

| 会 員 名   | 会 社 名      | 支 部 名   | 入 会 年 月    |
|---------|------------|---------|------------|
| 植 杉 友 哉 | 1388(株)    | 長 崎 出 島 | 2016年12月入会 |
| 土 井 修   | (株)愛幸苑     | 諫 早     | 2015年4月入会  |
| 友 永 俊 介 | (有)大栄ハウジング | 諫 早     | 2014年1月入会  |